



すすんであいさつ

西岐波小学校では、毎朝子ども達の元気なあいさつで一日が始まります。

西岐波小学校には子どもたちが考えたチャレンジ目標があり、その一番目には、「すすんであいさつ」があります。

校長からも始業式で子どもたちに「気持ちのよいあいさつをしましょう」という話をしました。また入学式では、新1年生に向けてPTA会長から「あいさつの大切さ」を伝えていただきました。

それだけ、大人も子どもも「あいさつ」を大切にしている西岐波小学校です。

先日、朝の登校を見守ってくださっている方とお話している中で、「子どもたちが元気にあいさつしてくれるだけで、とてもうれしい気持ちになって今日も一日がんばろう!という気持ちになるんですよ。」という話を伺いました。

その話を、一年生の子どもたちに伝え、目をキラキラと輝かせてうれしそうに聴いてくれました。やはり、あいさつには、した方もされた方も気持ちよくさせる力があるのだと改めて感じました。

もちろんちょっと恥ずかしくて大きな声は出せない子もいるし、少し気持ちが沈んでいて、笑顔であいさつが難しい子もいます。一人ひとりあいさつの様子も違います。声は出せなくても笑顔で会釈ができる子もいます。ちらっと目をあわせてうなずいてくれる子もいます。



一人ひとりの様子を見ながら、「今日も一緒に頑張ろうね。」というメッセージをこめて毎日のあいさつをしていきたいと思います。

校長 常岡 敏行

西岐波小学校では、担任の他にもたくさんの教職員や外部のサポーターの方の力で子ども達のよりよい成長を支援しています。その中で本年度山口県教育委員会から3名の加配教員が配置されていますので紹介します。

■児童支援加配教員・・・個別の支援が必要な児童の学習支援や登校支援を行います。

■少人数指導加配教員・・・主に3年生の算数を担任と2名体制で指導にあたります。

■ステップアップルーム サポート教員・・・校内にあるステップアップルームで個別の支援等を行います。

※これからも学校全体で一人ひとりの子どものよりよい成長に向けて支援していきますので、どうぞよろしくお願いいたします。